

平成30年度

第6回大分県教育委員会 議事録

日 時 平成30年6月26日(火)
開会13時35分 閉会14時15分

場 所 教育委員室

平成30年度
第6回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第1号議案 教職員の懲戒処分について

第2号議案 教職員の懲戒処分について

(2) 報 告

①平成30年度地域の高校活性化支援事業について

(3) 協 議

①大分県立図書館協議会委員の任命について

(4) その他

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	工 藤 利 明
	委員	林 浩 昭
	委員	岩 崎 哲 朗
	委員	松 田 順 子
	委員	高 橋 幹 雄
	委員	鈴 木 恵
事務局	理事兼教育次長	宮 迫 敏 郎
	教育次長	姫 野 秀 樹
	参事監兼教育人事課長	法華津 敏 郎
	参事監兼学校安全・安心支援課長	宗 岡 功
	参事監兼特別支援教育課長	後 藤 みゆき
	教育改革・企画課長	中 村 崇 志
	教育財務課長	佐 藤 誠一郎
	福利課長	阿 部 浩 康
	義務教育課長	米 持 武 彦
	高校教育課長	檜 崎 信 浩
	社会教育課長	石 井 利 治
	人権・同和教育課長	樋 口 哲 司
	文化課長	阿 部 辰 也
	体育保健課体育・スポーツ振興監	加 藤 寛 章
	屋内スポーツ施設建設推進室 室長補佐	笠 木 敏 行
	教育改革・企画課主幹	下 鶴 直 哉
教育改革・企画課主査	三 浦 晃 史	

2 傍聴人

6 名

開会・点呼

(工藤教育長)

それでは、委員の出席確認をいたします。
本日は、全委員が出席です。

ただいまから平成30年度 第6回教育委員会会議を開きます。

署名委員指名

(工藤教育長)

本日の議事録の署名委員でございますが、岩崎委員にお願いしたいと思っております。

会期の決定

(工藤教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。
会議の終了は14時15分を予定しています。
よろしく申し上げます。

議 事

(工藤教育長)

はじめに、会議は原則として公開することとなっておりますが、会議を公開しないことについてお諮りします。

第1号議案、第2号議案、協議の①は、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。公開しないことに賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

それでは、第1号議案、第2号議案、協議の①は、非公開といたします。

本日の議事進行は、はじめに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行いますので、よろしくお願いします。

【報 告】

①平成30年度地域の高校活性化支援事業について

(工藤教育長)

それでは、報告第1号「平成30年度地域の高校活性化支援事業について」檜崎高校教育課長から報告いたします。

(檜崎高校教育課長)

報告第1号「平成30年度地域の高校活性化支援事業について」報告いたします。1ページをご覧ください。

まず、平成29年度の実績と成果についてです。

学力向上プロジェクト・学力プラスワンプロジェクトという2つのプロジェクトからなる「高校魅力化・特色化プロジェクト」を平成28年度に引き続いて昨年度も取り組んでまいりました。その結果、平成29年度に地域の高校活性化支援事業に採択した16校中9校で定員充足や受験者数の増という成果が出ました。

その右側にございますように、例えば、由布高校では、「地域産業の担い手育成」として、観光人材「由布マイスター」の養成講座などに取り組み、欠員数は平成28年度の14人から、昨年度は0人、本年度は地域の生徒数が大幅に減る中でも1人という状況になりました。また、生徒の進路においても、県内のホテル関係へ5名が就職するなど、コースの特色を活かした進路の実現に結びついています。

同じく、日田三隈高校においても、市内の中学校や特別支援学校と連携して商品開発などを行い、欠員数は、平成28年度の19人から昨年度は0人、本年度は4人というように減少しています。

こうした昨年度の実績を踏まえ、「課題と今後の取組」の「平成30年度の課題」に2点課題を記載しております。

1つ目は、これまでの取組の成果を発展・持続可能なものにしていくこと、2つ目は、将来の地域を創生する人材を育成することです。

特に、2点目につきましては、現在、地域との連携は深まりつつある中、生徒自らが、地域の抱える課題を知り、その解決に向けて主体的かつ協働的に取り組むことで、ふるさとに対して深い愛情を持ち、将来、地域の内や外で活力ある地域を創生することを志す人材を育成するため、本年度、地域創生に係る新たなプロジェクトを行うこととしています。例えば、竹田高校では、「地域を探究するフィールドワーク」として、実際に生徒が竹田のまちに出て行き、実態を調査、研究することで、地域課題の発見・解決に取り組み、解決策を発表、提言します。国東高校では、同じく地域課題である地域医療という分野に焦点をあて、市民病院等とも連携し、地元医療改善策等の提言を行います。佐伯豊南高校でも、市と連携して地場産業の活性化について研究を行います。

こうした取組により、例えば、竹田高校では大学で地域創生学を学ぶ生徒、国東高校では大分大学医学部へ進学する生徒、佐伯豊南高校では、地域産業の担い手などを育て、その結果として、地元で地域の活性化に携わる人材育成につなげます。

次のページは本年度の採択した学校の取組一覧を掲載しております。報告は以上です。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(松田委員)

とても素晴らしい取組だと思います。ただ、先日、国東市が世界農業遺産の発展に向けたアイデアを全国ネットで募集していましたが、この資料では、国東は地域課題として医療分野をあげています。この取組を進めるにあたって、市役所、振興局などと一層連携すると、もう一步地域の活性化が進むと思います。振興局等との連携についてはどのように図るのでしょうか。

(檜崎高校教育課長)

国東高校が取り組もうとしている医療分野というのは、いくつもあるプロジェクトの一つでありまして、ご指摘いただいた世界農業遺産も柱の一つとして、国東市等のバックアップもいただきながら取り組むこととしています。

(高橋委員)

この中でも大学との連携をあげられていますが、現在、いろいろな大

学が地域とコミュニケーションをとって、施策を展開するようになって
います。高校でも地域との連携が具現化して、形としてできていると
ころはありますか。

(檜崎高校教育課長)

県内の大学で言いますと、A P U、別府大学、大分大学との連携が進
んでいます。具現化して形になっている部分としては、生徒間の結びつ
きや学校間の結びつきが、この事業を通じてかなり強固になっていると
感じています。

(高橋委員)

高校生が大学生とのコミュニケーションを通して、その大学に進学し
たり、例えばA P Uや大分の大学出身の学生が地域に残って地域に影響
を与えるというような形は、まだ出来ていないですか。

(檜崎高校教育課長)

今、そのような状況を示す資料は持ち合わせていませんが、ゆくゆく
はそのような人材育成につなげていきたいと考えています。

(高橋委員)

ぜひ優秀な人材が大分に残るようにしていただきたいと思います。

(林職務代理者)

地域でいろいろ面白い活動をしている地域の人材がたくさんいると思
いますが、地域人材との連携についてはどういう形で進んでいますか。

(檜崎高校教育課長)

地域との連携というのが、活性化支援事業の大きな柱の一つでもあり
ますので、各学校では地域の人材や地域の産業など、いろいろな部分と
結びつきを持つように取り組んでいるところです。

(林職務代理者)

大学で地域創生学を学ぶような生徒を育てたいということですが、例
えば大分大学にもそのような学科等ができたと聞いています。地域創生
学を学んで、それが実際に地域の活性化につながるという流れが全国的
にも出来てきたように思いますが、地域創生学をどこの大学に行けば学
べるという情報を生徒は知っているのでしょうか。また、そのようなこ
とに取り組んでいる大学とのつながりはあるのですか。

(檜崎高校教育課長)

進路指導の中で生徒に情報提供するなど、一人ひとりに対してきめ細かに進路指導を行っていると思いますが、ご指摘いただいた部分については、さらにしっかりと取り組んでいきたいと思ひます。

(岩崎委員)

全県一区の中で高校間で格差が出てきていると思ひますが、その中で高校が魅力化を図ったり、地域の人材を育てることは大変素晴らしいことだと思ひます。

このようなプロジェクトは、学校ではどういふ方が考えられているのでしょうか。

また、学校ごとに特色ある取組を考えられていると思ひますが、例えば、地域の方々との共同で作ったプロジェクトなど、うまくいっている事例を学校間で共有しあう場はどのように設定されているのでしょうか。

(檜崎高校教育課長)

基本的に各学校では、校長を中心に取り組んでいます。多少の差異はあるかもしれませんが、私が校長として経験した中では、管理職を中心に、運営委員会で最終的に意見を出し合うなどの形をとっています。また、地域との協働が大切ですので、教科担当からも意見を聞きながら取り組んでおります。管理職だけで取り組むものでないと感じていますし、基本的には学校全体で対応していると認識しております。

また、例えば、由布市の由布市検定では学校が原案をつくり、市教育委員会などでつくる検討委員会で案を作っているという事例もあります。

当課には、各学校担当の指導主事がありますので、学校と情報のやりとりをしながら、その取組についてアドバイスをを行いますし、学校の取組を全県的に広げていく取組も進めていくこととしています。

(岩崎委員)

各学校が連携することで、相乗効果が出るようにも願ひします。

(林職務代理者)

これまでSSHの取組を見てきましたが、SSHのように「地域の高校拠点化プロジェクト」では、各高校の生徒が互いに競い合ったり、互いの取組を知り合う場はありますか。SSHのように皆が集まるような場があるといいと思うのですが、いかがでしょうか。

それから、SSHの場合では理系大学への進学後に県内でどのような就職先があるか道筋が見えますが、大学で地方創生について学んだ後、例えば県内で就職先等についても道筋が必要だと思ひます。

(檜崎高校教育課長)

まだ、活性化支援事業の取組は、各学校単位で行っている状況ですが、SSHをはじめ、SPHやSGHでは県内各校が切磋琢磨したり、好事例を普及するような取組を行っておりますので、この活性化支援事業でもどのような展開が望ましいか検討していきたいと思っております。

(鈴木委員)

私の子どもが地域マネジメントを学んでいますが、正直、高校生の段階で地域の問題に向き合うのは難しい部分もありますので、大学に進学した先輩たちが社会に出て、実際にそういう問題に直面されていたり、市や県の職員の方などからお話を伺う機会が高校生にもあると、地域のことをより身近な問題として考えるようになってくると思います。

また、各高校で大学進学へのセミナー等が開催されていますが、普通科の生徒の方には数多く大学の情報が提供されていますが、それ以外の学科ではあまりございません。多方面から情報が発信されれば、どこかで子ども達も情報をキャッチすることができると思っておりますし、その情報は、生徒にとって有益になると思っております。

(檜崎高校教育課長)

ご指摘いただいたことにしっかり取り組んでいきたいと思っております。

この事業に限らず申しますと、アグリ創生塾のプレ研修の中では、農業系大学等に進学をしたい生徒たち対象に9校10学科の生徒を集める研修も始めました。農業という言葉を通じて地域創生に取り組んでいけるよう進めていきたいと思っております。

(工藤教育長)

では、今いただいた意見も活かしながら進めていきたいと思っております。

(工藤教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開でその他、何かございませんか。

では、先に非公開と決定しました議事を行いますので、関係課室長のみ在室とし、その他の課室長及び傍聴人は退出してください。

(関係課以外及び傍聴人退出)

【議案】

第1号議案 教職員の懲戒処分について

(工藤教育長)

それでは、第1号議案「教職員の懲戒処分について」提案しますので、法華津参事監兼教育人事課長から説明いたします。

(説明)

(工藤教育長)

ただいま説明のありました議案について、審議を行います。ご質問・ご意見のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

他にございませんでしょうか。

それでは、第1号議案の承認についてお諮りいたします。第1号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採決)

(工藤教育長)

第1号議案については、提案どおり承認します。

第2号議案 教職員の懲戒処分について

(工藤教育長)

次に、第2号議案「教職員の懲戒処分について」提案しますので、法華津参事監兼教育人事課長から説明いたします。

(説明)

(工藤教育長)

ただいま説明のありました議案について、審議を行います。ご質問・ご意見のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

他にございませんでしょうか。

それでは、第2号議案の承認についてお諮りいたします。第2号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

第2号議案については、提案どおり承認します。

【協 議】

①大分県立図書館協議会委員の任命について

(工藤教育長)

次に、協議の①「大分県立図書館協議会委員の任命について」石井社会教育課長から説明いたします。

(説 明)

(工藤教育長)

ご質問・ご意見のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

他にございませんでしょうか。

それでは、今回の協議の結果を踏まえ、準備を進めてまいります。

(工藤教育長)

それでは、最後にその他、何かございますか。

ないようですので、これで平成30年度第6回教育委員会会議を閉会します。

お疲れ様でした。